

「北京ワールドダイヤモンド 新製品発売」と 「機械要素展出展」速報



株式会社京二
執行役員
ゆき しの けつ
愈 箴 潔

5月と6月に新仕入れ先である「北京ワールドダイヤモンド工具」と一緒に日本での新製品発表会とお客様訪問を行った。

5つの新製品は、①自社特許のアルミボディの高速フライスカッター、②ブレード付ダイヤモンドチップ、③ソリッドタイプ鋳物仕上げ加工用CBNチップ、④コーティング付CBNチップ、⑤フライス加工用CBNカッター。

欧米と中国で先行発売し、良い評価を得ており、日本のお客様へ紹介することになった。新製品は実用性に目を向けて、軽量化、実用化、さらに交換し易いことを着目し、量産工場での困りごとを最大限で解決できることは一番のメリットである。

メーカー同行を行った結果、多数のお客様でテストまで進められた。鋳物の仕上げ加工用セラミックチップの寿命不安定によるCBNチップへの切替のご相談、ロー付けカッターを全てダイヤモンドチップ用カッターに切替える場合のコスト対効果のご相談、テストデータを自社社内状況に照らし合わせ、一番相応しいテスト工程を見つけるなど様々な問題点を拾ってきた。

いくら工具技術が進歩されても現場では永遠の課題が存在している。更なる、もう1歩上を目指しお客様へ良い中国製品を提供するのは責任と感じる。

6月21～23日に京二は初めて機械要素技術展へ出展した。

目的は中国からの輸入販売を工具だけでなく、鋳造部品関連まで拡大することだ。日本や欧米への輸出が豊富で、上海近辺に立地する中国精密鋳

造メーカー3社を厳選し、鋳鉄、ステンレスと鋳鋼とそれぞれの得意分野の出展品を揃えた。

3日間で200名お客様ご来場、部品調達の情報を頂いてるお客様は100名。主にポンプ部品、建設機械部品メーカー、医療機器部品、自動車周辺部品メーカー分野のお客様がご来場。展示場で図面を持ち込むお客様もいらした。

3社中の1社「寧波精密鋳造」の付社長もアテンドし、朝から京二の社員と一緒にお客様をブースへの呼び込みに熱意を込めた。

京二は商材分野では部品の売上も大きい。また、工具を販売するなかでも、お客様から外注先を探して欲しいという相談も多い。日本国内では鋳造製造はコストや納期面の問題、鋳造をやめたなど様々な困難に直面している。海外に拠点のないお客様が鋳造品を直接輸入される場合、かかる人力や物力が莫大になり、失敗する確率も高い。

京二はお客様のニーズに合わせて、価格、生産規模、精度要求の似合うメーカーを紹介することができ、お客様、メーカーとのwin-winの関係を作りたいことを望んでいる。鋳造や部品の専門知識について更なる勉強が必要だが、海外からの輸入についても文化や言葉や規格に対する理解の溝を埋めれば、日本のお客様の要求に満足できる量産品を作れると信じている。

出展することは任務の終わりではなく、仕事の起点と認識している。資料の補足やネットでの鋳造情報の公開などアフターワークも多くなる中でお客様の見積ご依頼、工場ご視察要望も承る。

部品の中国調達のお悩みがございましたら是非ご相談くださいませ。